

丸山眞男



[丸山眞男 下载链接1](#)

著者:吉部 直

出版者:岩波書店

出版时间:2006-5-19

装帧:平装

isbn:9784004310129

近代的理念と現代社会との葛藤をみすえつつも、理性とリベラル・デモクラシーへの信念を貫き通した丸山眞男。戦前から戦後への時代の変転の中で、彼はどう生き、何を問題化しようとしたのか。丸山につきまとうできあいの像を取り払い、丸山の遺した言葉とじかに対話しながら、その思索と人間にせまる評伝的思想案内。

作者介绍:

吉部 直（かるべ ただし、1965年 - ）は、日本の政治学者、東京大学教授。専門は、日本政治思想史。

東京都生まれ。1983年筑波大学附属高等学校卒業、東京大学教養学部文科Ⅲ類から法学部に進学し、94年東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。渡辺浩に師事した。「光の領国

-和辻哲郎における「人間」と「政治」」で法学博士。東京大学法学部講師から、96年助教授、現在、法学政治学研究科教授。

2006年、『丸山眞男――リベラリストの肖像』でサントリー学芸賞（思想・歴史部門）を受賞。2011年『鏡の中の薄明』で毎日書評賞受賞。

目录:

[丸山眞男_下载链接1_](#)

标签

丸山眞男

思想史

日本

政治思想史

历史

日语

文学

思想

评论

解说入门书，混乱正义立场，要言不烦的思想及其社会背景的梳理

此书是丸山真男研究有名的受赏作，也有英译本，日文的原版和英文版都是写作流畅，通俗易懂的著作。不过，说起来~在最新一般的早稻田法学上，发表了笹倉秀夫的书评P225-254，直斥此书为学术不端作，除去数多的直接或者间接引用他的作品而不标注出处之外。虚言自己的研究是突破性的，诱导读者对于自己的作品产生过大的评价。这样严厉的指责，说实话，真是感到非常的意外和震惊。虽然并不清楚为何作者在此书出版12年之后旧事重提？然而无论如何，上述的指控是否为真，只能期待原作者的回应了。

丸山的徒孙辈做的思想传记。想到九月能见到作者，有点激动

下学期的预备性阅读。

这本是了解丸山真男最简单粗暴的一本。哈哈哈哈！读完以后的感觉是，还是老老实实看丸山真男自己写的著作吧。不过短期内抱佛脚还是有一定帮助的。

Karube文笔不错，但观点就仁者见仁了。另外，作为新书，不用编年体的方式写，对入门者来说非常的不亲切。

[丸山真男_下载链接1](#)

书评

[丸山真男_下载链接1](#)